



## 特集

# 住宅向けAI、IoTの最新動向

## Society5.0時代に向けた住宅産業の最新技術

近年は、IoT（インターネットを介したモノ）やAI（人口知能）を搭載している機器やサービスが流行しており、新製品ニュースの発表でも数の多いジャンルとなっている。本誌でも特集の機会を窺っていたのだが、一つのマンションシリーズのための特注仕様といったものが多く、住宅商品や機器の付加価値を引き上げるための機能が向上しているのだが、本当に価値が向上しているのか、必要とされている機能なのかとい

うと、そうとも言えないベンチャー色の強いものも多く、記事として取り扱いかねているうちに、ニュース情報ばかりが山のようにたまってしまった。今月号では、この1年ほどの住宅分野のIoTやAIに関する情報を振り返りながら、10月15日〜18日にかけて幕張メッセで開催されたCEATEC 2019における個々の商品のマーケット動向を抑える内容とする。

### CEATEC / IoT

## 介護分野で実証中のサービス クラウドファンディング活用

LIXILでは、「LIXILの考えるSociety5.0」をテーマとして3つの商品・サービスを展示紹介した。

ひとつは、AI（人口知能）を用いて国際基準に基づいて便

の形状で健康への影響を判定する取り組み。H・C・Rで初展示したもので、これは引き続き高齢者施設との実証試験を行う予定で、さまざまな角度からの医療的な検証を行った後に本